



2016年9月6日

東日本旅客鉄道株式会社

## 品川開発プロジェクトにおける品川新駅（仮称）の概要について

- 品川開発プロジェクトでは、「グローバル ゲートウェイ 品川」として世界中から先進的な企業と人材が集い、多様な交流から新たなビジネス・文化が生まれるまちづくりの実現に向けた検討を進めています。
- これまで、新しい街の中核となる新駅の設計を進めてきましたが、今般、その概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

### 1. 整備の概要

設置位置：JR品川車両基地跡地内

田町駅から約1.3km、品川駅から約0.9km 付近

ホーム形態：線路別島式2面4線（山手線、京浜東北線）

開業予定時期：本開業は、2024年頃の街びらき時を予定しています。なお、2020年春に暫定開業を予定しており、駅正面付近においてはイベント等の開催も検討しています。

### 2. デザイン

- ・品川新駅（仮称）が国際交流拠点となる街の中核施設として象徴的なデザインとなることを期待し、当社プロジェクト（渋谷駅、宝積寺駅等）における実績を踏まえ、世界で活躍している隈研吾氏をデザインアーキテクトとして、2014年から設計作業を進めています。
- ・日本の魅力を発信していくために、日本の伝統的な折り紙をモチーフとした大屋根を、障子をイメージして「膜」や「木」等の素材を活用し、「和」を感じて頂ける駅を創ります。また、膜屋根をランダムに折ることで、駅の多様な表情を生み出します。

### 3. 街との連携

新・国際都市として人と地域をつなぎ、駅と街を一体的な空間として感じて頂ける「エキマチ一体」を実現することにより、新しい街の魅力を発信します。

- ・駅舎東西面に大きなガラス面を設けると共に、コンコース階に約 1,000 m<sup>2</sup>の大きな吹き抜けを設けることにより、「えき」から「まち」、また、「まち」から「えき」を見通せることで一体的な空間を創ります。
- ・「えき」と「まち」が連携したイベントを行うために、駅の改札内に約 300 m<sup>2</sup>のスペースを創ります。

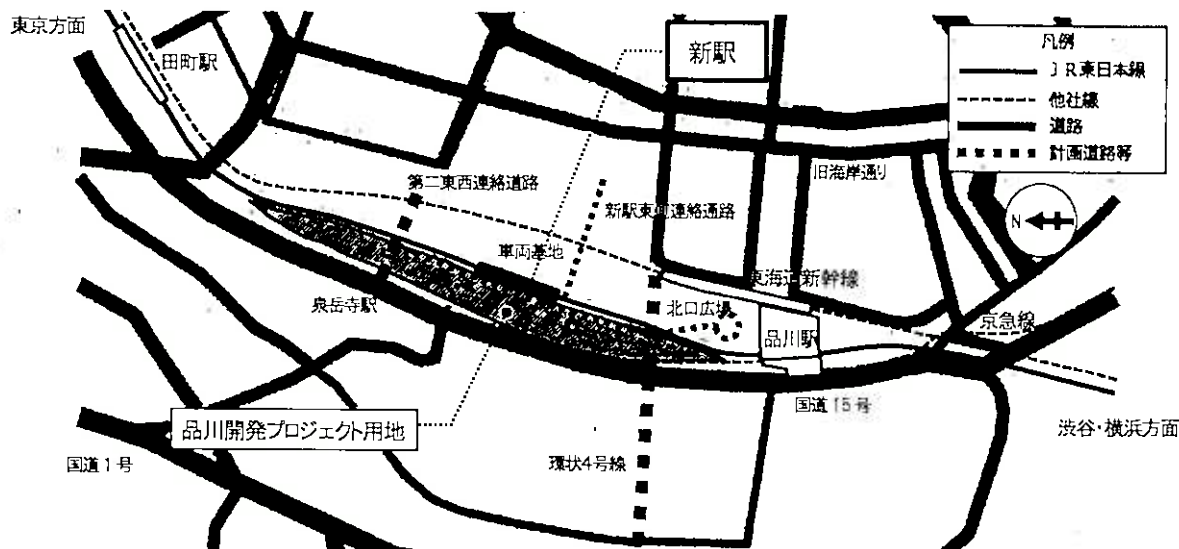
### 4. 設備計画

- ・周辺地域からのご利用を考慮し、南北2箇所に改札口を設けます。
- ・各ホームにエレベーターを2基設置し、そのうち1基を24人乗りとします。
- ・南北のトイレに多機能トイレを2箇所ずつ（計4箇所）設けます。
- ・駅の創エネとして、太陽光パネルと小型風力発電機を設置します。
- ・夏場のコンコース内の温度上昇を抑えるため、屋根に日射反射率の高い膜材を使用し、放射熱による屋根下の体感温度を低下させます。また、大屋根の消雪用散水機能を活用し、打水効果で膜表面の温度を低下させます。

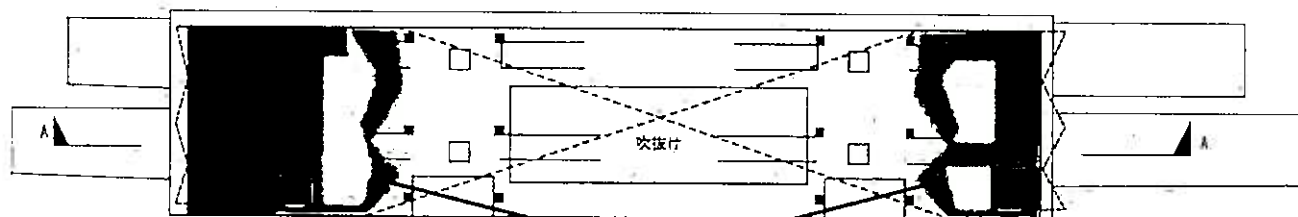
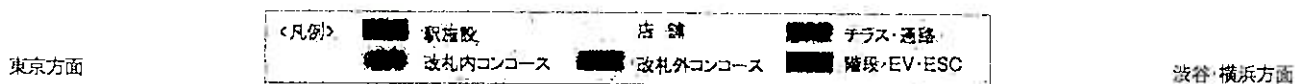
#### 【施設概要】

構造・高さ	鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階・建物高さ 約30m	
用途・規模等	総床面積	約7,600m <sup>2</sup>
	駅施設(駅事務室・旅客便所等)	約2,400m <sup>2</sup>
	店舗(2階、3階)	約500m <sup>2</sup>
	大屋根(約110m×35m)	約4,000m <sup>2</sup>
	吹抜け(約50m×20m)	約1,000m <sup>2</sup>
諸設備	可動式ホーム柵	山手線、京浜東北線各ホーム
	エスカレーター	8基(各ホーム4基)
	改札内エレベーター	4基(各ホーム24人乗り1基、18人乗り1基)
	改札外エレベーター	2基(11人乗り)
設計	東日本旅客鉄道(株) 東京工事事務所 東京電気システム開発工事事務所 品川新駅設計共同企業体 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所) 隈研吾建築都市設計事務所[デザイナーアーキテクト]	
施工	品川新駅(仮称)新設工事共同企業体 (株)大林組・鉄建建設(株) ※準備工事については、9月に着手を予定しております。	

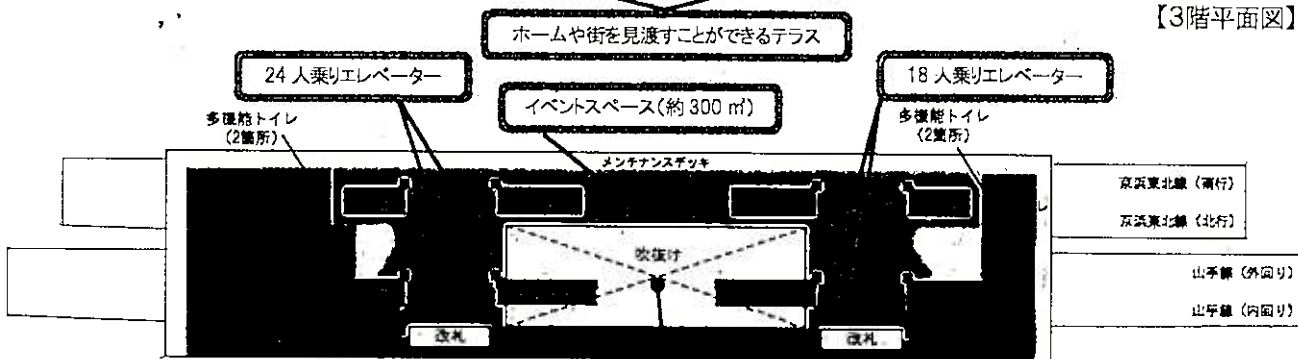
(別紙)



【配置図】



【3階平面図】

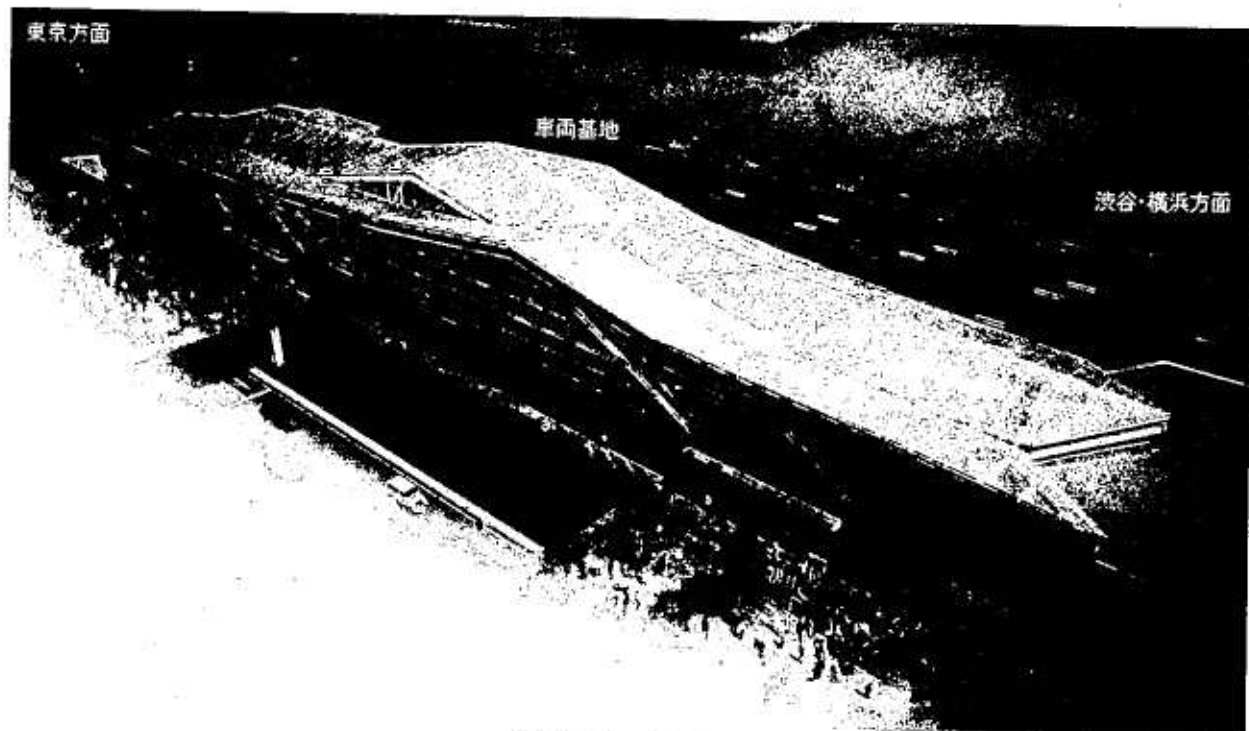


【2階平面図】



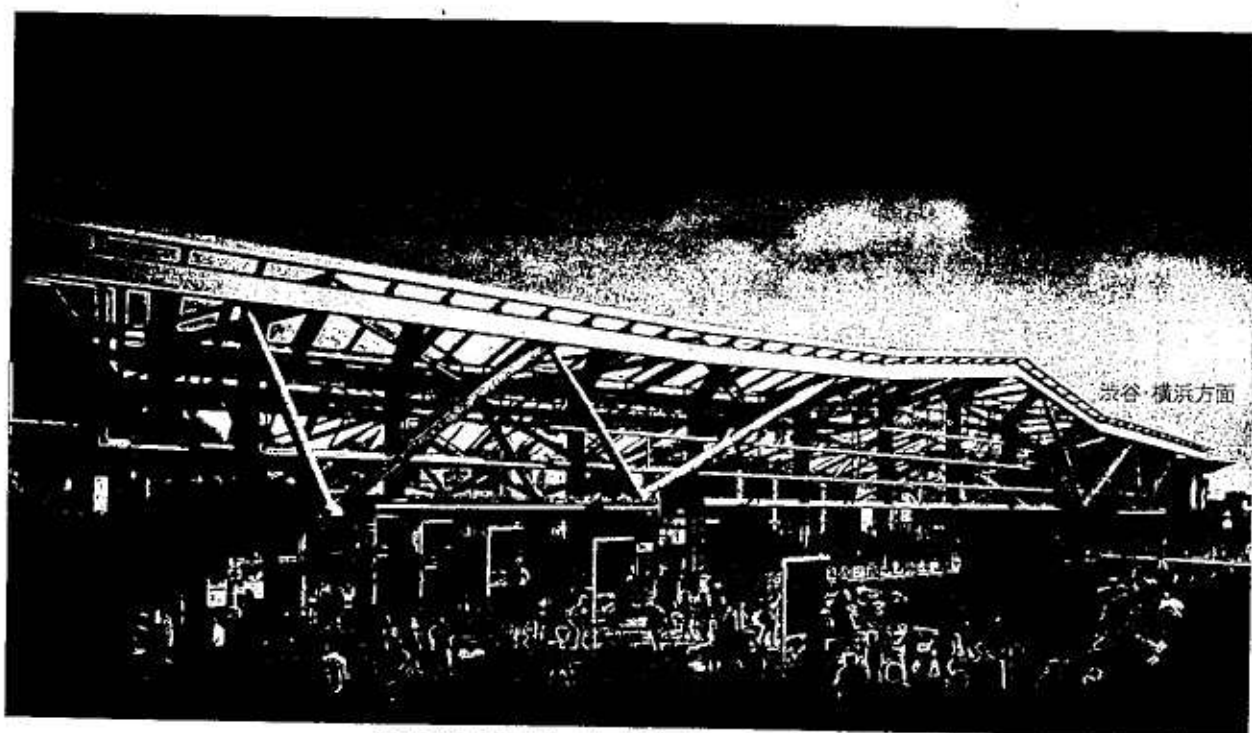
【A-A 断面図】

※今後、必要な行政手続きを踏まえ詳細を確定していきます。



【鳥瞰イメージ図：(日本の伝統的な折り紙をモチーフとした大屋根)】

※パースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります  
 ※街へ接続するデッキ・屋根については、協議中です



【街区側外観イメージ図：(「えき」から「まち」を見通すことができる大きなガラス面)】

※パースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります  
 ※街へ接続するデッキ・屋根については、協議中です

街側

車両基地側



【駅舎内観イメージ図：（「えき」と「まち」をつなぐ大きな吹き抜け空間）  
（障子を連想させるやわらかな光と木を感じる空間）】

※パースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります

車両基地側

街側



【駅舎内観イメージ図：（車両基地を見渡すことができるイベントスペース）】

※パースは現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります